

川幸通信

第20号
平成19年5月発行

「祝20号!」

またもや自画自賛です(苦笑)
平成17年9月から創刊し足掛け3年、20号を発行することが出来ました。さらに今年3月にはHPをオープンしました。

当社は瓦製造業として創業から76年が経ちます。現在は製造をOEMに切り替えてから問屋業・工事業が主になっています。昨年度からはリモデル事業を開始しました。時代とともにお客様のニーズにお答えする為に、業態を変貌してきました。これからの切らうれしい限りです。末永く本誌をご愛読いただけたい。

「Flats to Let Remodering」 「賃貸マンションの改修」

「内外装建材販売施工の川幸窯業(本社)愛知県高浜市田戸町)は新事業として、中古賃貸マンションのリモデル(改築)事業を開始した。間取りからデザインまでを一括で提案施工する。中古物件の付加価値を高めて空室解消などにつながる差別化策として家主らにアピールする。」(中部経済新聞記事より)

昨年からは、新事業としてリモデル事業を始めました。一般的に、空室となった賃貸マンションは従来の間取りを活かしたまま、室内のク口スなどを張り替える程度でした。

築年数が古くなると、設備の老朽化や時代に合わない間取りなどにより、空室が目立ってきます。採算が取れなくなると家主は家賃を下げるか取り壊すかの選択を迫られます。

家賃を下げれば空室を避けられますが、入居者の質や環境の低下が問題になります。また、建物を取り壊すと大量の産業廃棄物に出資することになります。

諸外国では築60年以上の建築物が現役です。がなぜ、日本だけ築30年で取り壊しなのでしょうか？

これからはスクラップ&ビルドではなく、リモデルにより建物を長く使うことが重要になります。

また新築とは違い、古さを活かし現代のライフスタイルに合った、今までに無いリモデルは差別化ができ、家賃設定を上げて空室が無くなります。

当社が今までの内外装の施工から得た豊富な経験や知識を活かし、計画プランから施工まで一環して行います。

今私たちが地球環境のために出来ること：消費を少なくすることです。つまり

必要の無いものは作らない
作ったものは壊さない
より長く使う、長く持つように作る

私たち物作りに携わる者から意識改革が必要だと感じます。

当社のリモデル事業はそんな思いから発足しました。人に地球に優しい住環境をご提

「ブラジリアン イペ」

殆どの方が耳慣れない言葉だと思います。

ノウゼンカズラ科の木材です。原産地は南米ブラジル

材色は初期は黄緑色ですが、時間の経過とともに美しい褐色になります。耐朽性は非常に高く、病害虫やシロアリに強い木材です。日本には10年位前から輸入され始め、公共のデッキなど使用されています。

イペ材の特徴

優れた強度 架橋にも使用
耐久性が高く屋外の施設に最適
傷がつきにくい

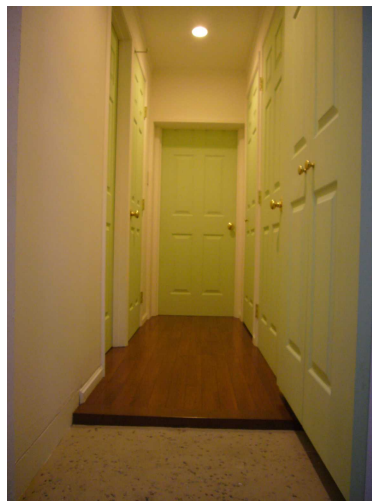
耐摩耗性にすぐれている

ひび割れが少なく病害虫に対する耐久性が高い

以上の特徴から、公共施設だけではなく、住宅のウッドデッキや外装材にも適した木材と言えます。

ウッドデッキを採用したいが、メンテナンスやシロアリなどの被害を気にされる方、「イペ」はこれらの不安を解消できる優れた木材です。

住宅のオーガニックウッドデッキはぜひ高級素材「イペ」による施工をお勧めします。詳細は当社担当者までお問い合わせください。



川幸窯業株式会社

TEL
FAX

0566-53-1214
0566-53-2094

E-Mail
HP

info@kawakoh.co.jp
http://www.kawakoh.co.jp